



組合員の購読料は組合費に含まれます
荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1727 定価 15円

2010年
10月5日

**国労加入を
大胆に訴えよう**

第61回地方大会開催

2/25 in 発明会館

東京地方本部は九月二五日に、発明会館において第六一回定期地方大会を開催した。

九時三〇分、稲荷副委員長の開会あいさつが行われ、議長には渡代議員(自動車)を、副議長には武田代議員(八王子)を選出し大会が始まった。
石上委員長のあいさつを受け、東京交通労協をはじめ、かけつけた多くの来賓の方々から激励のあいさつをいただいた。国労弁護団福田弁護士から、この間の不採用問題の報告をいただき、東日本本部高野委員長あいさつ、佐藤洋二団長(日野市)をはじめ国労議員団の紹介を行った。
松川書記長から経過及び方針案が提案され、昼食休憩を挟んで組織拡大表彰が行われた。今年八王子地区本部と武蔵小金井駅連合分会が表彰され、石上委員長から八王子地区本部熊田組織部長に表彰状を、武蔵小金井駅連合分会長に表彰状と記念品をわたされ、内堀分会長からはこの間の四名拡大の取り組みが報告された。
財政報告、選挙告示のあと討論に入り、経過で五名、方針で東京闘争団原田団長か



国労東京第61回定期地方大会
—総団結・総決起—
傍聴者

JR不採用問題は四月二六日に開催した第七八回臨時全国大会で組織の総意として政治的合意事項である「国鉄改革一〇四七名問題の解決案(四党申し入れ)」の受諾を決定。鉄道・運輸機構との裁判上の和解が成立しました。早期解決を求める国内世論は、延べ一三三二本にのぼる意見書にみられるように、政府に解決を迫る後押しとなりました。
昨年八月の政権交代と三党連立政権の発足を、解決の機会と位置付け、「政治窓口」である関係国会議員の皆さんと各政党や政府機関への働きかけを行い、与党三党と公

委員長 あいさつ

明党が中心軸となった政治的解決案が作りだされました。この闘いを支えてこられたのは、職場・地域における組合員・家族のたゆまぬ努力と、闘争団とその家族を物心両面から支えるカンパ等を継続していただいた地域・共闘の仲間皆さんの存在です。残された課題の最終解決を目指し組織に集中し、全組合員・家族が結集することを訴えます。
安全・安定輸送の確立は、労使の枠を超えて日常的に検証し、改善されなければならぬ課題であります。とりわけJR東日本においては「首都圏輸送障害低減に向けた対策」を実施。事故・故障件数は減少しているものの、一度発生すると輸送障害が拡大するなど、深刻な状況に陥っています。あわせて過去二年間で六名もの尊い命が痛ましい労災事故で奪われるなど、「安



国労東京第61回定期地方大会
—総団結・総決起—
演壇

ら特別報告を含め一三名の発言があり、安全問題や労働条件改善、平和の問題、不採用問題など様々な報告が行われた。特に組織強化・拡大はほとんどの代議員から討論があり、今後一層の前進が期待される。(詳細は次号)
書記長集約がされ方針を確立。予算案の承認、スト権一票投票でスト権が確立され、選挙から岡田会計監査員の当選の報告(千代村会計監査員が退任)、特別決議・大会宣言と続き、最後に石上委員長この一年間の闘いの決意を全員で固めあった。



武蔵小金井駅で昨年加入した若い仲間、もう一人国労にと決意し、八月二三日に若い仲間を国労に加入させました。まさに、実践と努力の姿を示すことにより、私たちに展望をあたえてくれました。また、今年も引き続き「組織拡大・労働条件改善経

験交流集会」を開催してきました。一年間の総括の場として位置づけたこの交流会では、仲間を大切にしたい、助け合おう、職場の取り組みの重要性、労働条件や職場環境の改善に向けた

国労東京法律相談

- ・初回は無料 (地本負担)
- ・要予約

2010	2011
10/10	11/1
11/13	12/2
12/10	1/9
1/8	2/9

東日本本部 マラソン大会

皇居一周 駅伝 12/11

国労東京 野球大会

決勝・準決勝 11/17 (9/16 延期の為)

第18回

組織拡大労働条件改善 経験交流集会

第一八回目となる東京地本組織拡大労働条件改善経験交流集会が八月二八日に三浦海岸のマホロバでおこなわれた。

受付開始とともに、分割民営化直後の様子を記録した「闘いの足跡」を上映し、若手組合員に国労の歴史の一端を学習してもらった。その後石上委員長から「組織強化・拡大に向け分会の活性化をしよう。一緒に仕事をしながら、どう信頼を作ったのか、どう努力してきたのか共有化し、総括が必要。GS(グリーンスタッフ)アンケートを行っているが、彼らとどう一緒に進んでいくのか考えよう」との訓会あいさつがされた。東日本本部武田組織部長からは「東日本本部内の組織強化・拡大の現状と特徴」について報告がされた。



続いて取り組みの報告がされ、武蔵小金井駅連合分会からは「八月二三日に二一歳の宮下直樹君が国労に加入した。宮下君は、『誰が言った!』となってしまい、それを国労の人に相談し、加入に至った。分会集会・ニュース・飲み会などいろいろ見せてきた中で信頼もあつたと思う」などの話がされ、本人からは「他労組の参議院の選挙に引っぱり出されて、正社員登用試験の勉強ができなかった。GSアンケートもやって、国労もGSの事を考えている。国労の人たちは自分の時間を削って私の心配をしてくれた。熱意で加入した」といった話がされた。

武蔵小金井駅連合分会では、八月に国労加入した宮下直樹君の歓迎会を、九月一日一〇時半から開催した。

国労の歓迎会ではあまり例を見ないハンバーグレストランで行われ、本部鈴木総

もやって、国労もGSの事を考えている。国労の人たちは自分の時間を削って私の心配をしてくれた。熱意で加入した」といった話がされた。

続いてGS組合員から「登用試験に不合格の仲間が、そろそろ他の企業も考えるべきかな」と話している。自分も危機感がある。福利厚生も低く、購入券も少ない。しかし仕事は変わらない。責任あるポストについているGSもいる。不平不満がつつており、精神的に病んでいる人もいる。など労働条件改善への訴えがあつた。

その後分散交流会に移りそれぞれの職場の様々な取り組みの突合せが行われ、夕食を食べながらの交流、そして深夜まで各部屋での交流は続いた。

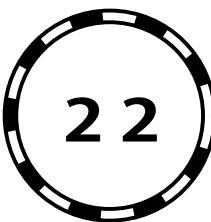
二日目は、分散会の内容を全体化・深度化するために、分散会座長等によるパネルディスカッションが行われた。最後に松川書記長から「組織拡大へのカベは私たち自身で作っている。〇〇だったらかわいそう、と自分でカベを高くしている。以前と違い、最近では若手が加入しても『勇気を出して加入』と言わない。勇気を出すのは私たち。私たち国労が今後どこに進んでいくのか、その為にも拡大に力を入れよう」などのまとめがあり、最後に石上委員長の団結ガンパローで拡大への決意を固めあつた。

歓迎 国労加入 56才 本郷台分会 (新杉田駅)

宮崎組織部長からは国労手帳と国労バツジが手渡され、全体で記念撮影も行いながら、おいしいハンバーグをつつきながらの和やかな雰囲気の中、宮下君から「一緒にがんばります」と決意もあり、盛り上がった歓迎会となった。



連載企画 分会紹介



大宮車両所 分会

こんにちは、大宮車両所分会です。分会は、一七名で組織されています。

貨物大宮車両所には一、二名の社員の他、パンダ、塗装業務で七名の社員が車両所内出向に出ています。現在、従来機関車とE1200、E1300形式等の新型機関車、M1000貨物電車の検修を混在して行っている状況です。

平成採用者が社員の半数を超える状況にあり、嘱託社員も増え続けている事から技術、技能の継承という点で教育のあり方が改めて浮き彫りとなっています。

職場における身近な要求は、長年の懸案事項も含めて集約し会社に対して要請しています。しかし、検修棟は、老朽化が激しく一部改修や塗装など行われてきていますが規模の大きな設備投資は、要求して二〇年以上経過した現在もその多くは、実現されていません。分会は、上部機関、貨物協と連携をはかりながら運動を進めていきます。

分会の取り組みとして執行委員会の定例化、全体集会の開催、分会機関紙の発行、



功績章受賞者を祝う会、定年退職者を励ます会等を随時開催し組織強化に向け取り組みを随時進めています。一昨年には、平成採用者の橋本君が新たに仲間に加わりましたが今後も組織拡大に向け取り組みを強めたいと考えています。

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険

「生きる」を創る。
Affac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

〈募集代理店〉
アベニール 株式会社
電話 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

〈取りまとめ先〉
(財) 国鉄労働会館東京地方部
TEL 054-2548 FAX 03-3806-9275
電話 03-3806-9264
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-55-1

資料請求したいお客様は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のおしり・約款」をご覧ください。